

# 「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕 事 の 内 容	管渠調査委託					
担当部署・課長名	下水道	課	業務	係	課長名	廣瀬 裕

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。		施 策 番 号	4 - 1	-
【施策名】 市街化の整備		総 合 計 画 書 (ページ)	85	

予算名	款 1	総務費	項 2	維持管理費	目 1	維持管理費	事業 13	委託費
-----	-----	-----	-----	-------	-----	-------	-------	-----

1 この仕事の目的	<b>① 誰（何）を対象にしていますか。</b> 公共下水道管路の維持管理	→	<b>① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）</b> 公共下水道施設 （全処理区11処理区）
	<b>② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]</b> 公共下水道管理が正常であること 管路寿命を全うできること 施設の日々による事故がないこと	→	<b>② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）</b> ①管路調査の実施処理区数 ②要緊急清掃件数
	<b>③ そのために何をしましたか。</b> 下水道管、人孔の目視調査の実施	→	<b>③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）</b> ①管路調査の実施処理区数 ②人孔目視調査数

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	処理区	11	11	11	/
	成果指標	②の数値	①処理区 ②件	①6 ②2	①4 ②5	①4 ②3	/
	目 標	②の目標値		/	/	/	/
	目標値設定の考え方		公共下水道事業範囲における点検調査完了の処理区合計（全11処理区）				
活動指標	③の数値	①処理区 ②箇所	①6 ②1426	①4 ②1709	①4 ②1691	/	/

3 経費	事業費（実績）		円	9,936,000	12,204,000	12,204,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。（退職手当組合負担金、共済費も含む。）
	財源	一般財源	円				
		特定財源	円	9,936,000	12,204,000	12,204,000	
	（うち受益者負担）		円				
	人件費（目安）	所要人数（再任用以外）	人	0.1	0.1	0.1	
		所要人数（再任用）	人				
職員人件費（再任用以外）		円	826,700	825,300	824,400		
職員人件費（再任用）		円					
事業費＋人件費		円	10,762,700	13,029,300	13,028,400		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期（開始年度）、何を目的に開始していますか。 ・平成24年度末で市内全域の管渠清掃委託が終了したことにより、平成25年度から清掃実施前に管路及び人孔内の目視調査を実施し管路の状態を把握し、管路事故における緊急作業の件数を減らすことを目的としている。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 ・下水道の維持管理についてストックマネジメントの考え方が必要になってきている中で、調査結果がストックマネジメント計画策定に役立つと考えられる。

仕 事 の 内 容	管渠調査委託			
担当部署・課長名	下水道	課	業務	係 課長名 廣瀬 裕

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	・特に無かった。			
6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）			
	取組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点			
7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>点検調査実施後の資料の整理を確実にしストックマネジメント策定に役立てる。</li> <li>調査結果から緊急性のある箇所は補修工事を実施する。</li> </ul>			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 <ul style="list-style-type: none"> <li>公共下水道ストックマネジメント基本計画を策定した。</li> </ul>			
8 今後の方向性	(3)(2)を踏まえた今後の課題			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>地方公営企業会計へ移行に伴う清掃路線の選定の平準化。</li> </ul>			
	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き市内全域の点検調査を確実に実施すること。</li> </ul>			
成果	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい調査技術などを調査、研究し、必要があれば取り入れることで委託費の削減等を検討していく。</li> </ul>			
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成果	成果を維持する。		経費	仕事の経費は削減する。